

通りの彩り、 ショウウィンドウ

ディスプレイデザイナー

千葉 淑子



ひと昔前までは、「休日には、街へ出掛けてウィンドウショッピング」というのが楽しみの代名詞のように言われていましたが、今ではすっかり聞かないフレーズになってきました。お買物は、もっぱら郊外のショッピングモールか自宅のパソコンのネットで。市の中心街をブラブラ歩くこと自体めっきり少なくなっていました。

それでもこの季節、友人と連れ立って街をそぞろ歩きするとウキウキします。強い日射しに照らされたデパートのショウウィンドウは、季節を先取りしたファッションに彩られ、思わず足を止め見入ってしまうこともしばしば。楽しいひとときです。無機質なビル街にあるショウウィンドウの役割は、重要です。なんととっても仕事に追われ、ゆとりのない日々を過ごす私たちに、季節の変わり目や年中行事を知らせてくれる、いわば街角のカレンダー。今年のファッショントレンドはもちろんのこと、時代の空気、ショップのコンセプトなど、様々なメッセージを発信しています。ショップにとってショウウィンドウは、顔であり、舞台であり、雑誌に例えるなら表紙という位置付けになります。書店に並べられた多くの雑誌の中からいかにして特徴をアピールし、手にしてもらえるか。つまり道行く人を立ち止まらせ、覗かせ、更に店の中に入らせるか…。その大切な役割をショウウィンドウは担っているのです。

私は、ディスプレイデザイナーという仕事柄、年に何度か東京のディスプレイを見て歩きます。やはり見応えのある場所と言えば銀座でしょう

か。もちろん、新しいビルが建ち話題になっている原宿や丸の内、六本木もそれぞれ街に個性があり刺激的ですが、ストリートとしてウィンドウショッピングを堪能するには銀座にかないません。銀座8丁目から1丁目まで、更にちょっと足を延ばして日本橋の高島屋や三越をチェック。自分がいつも参考にしてしている店舗を廻れば、まる一日がかりの遠足です。そう、まさに「銀ブラ」ですね。最近では、外資系ブランドが立並び「黒船襲来」などと話題になりました。銀座で同じ仕事をしている知合いの方の話によると、当初銀座の商工会関係者たちは、外資系の参入を快く思っていなかったようです。永年培ってきた「銀座ブランド」が崩されるのではないかと。しかしふたを開けてみると、バブル崩壊後、若い方の銀座離れが進み一時は翳りの見えていた街が、外資系ブランドが加わったことで新たな客層が増え、通りの賑わいが復活したそうです。それにより、新旧お互いが刺激しあい、ウィンドウのディスプレイも活気がでてきたとのことでした。

さて、実際ウィンドウをプランする際には、その立地条件も考慮して行きます。路面にあるのか、地下街なのか。歩行者や車輛の通行量はどうか。一面なのか、連続しているのか。通りの周りの環境はどうかなど。例え同じテーマで展開しても、その場に合わせ見せ方を変えて効果的な演出をしていきます。例えば、大きな道路に面し、走行している車輛からの視線を重視した場合、一瞬で理解してもらえるよう、シンプルで分かりやす



2008年夏／札幌 洋菓子きのとや白石店

いデザインにします。また、歩行者を中心に考えた場合、立ち止まって見てもらえるよう、細かな作りにポイントをおき、注視度を高めます。更に、何面も連続した展開となると一つ一つのウィンドウ内でも完結したデザインですが、離れて見ても連続性が感じられるようプランするなど、単にウィンドウをプランするといっても、誰に対し、どうアピールするかを考え変化をつけているわけです。

ところで、ディスプレイの設営作業といえば、通常閉店後ですから夜の作業になります。道行く人が少なくなってきたからの作業ですね。今まで設置されていた装飾物を撤去して、新しいディスプレイを施す。時には朝までかかることも。そして、何ごともしなかったかのように、翌朝開店と同時に舞台の幕が上がるのです。作業中、特に搬入搬出の際は、通行人との安全管理には気を使います。

ウィンドウの前に装飾物が運び込まれてくると、人の視線は一気に集中し、時には足元が疎かになる方もいらっしゃいますから。さて、そのウィンドウ内での作業、内側から見ているといつも見なれた町並みが少し違って見えるから不思議です。人や車はいつもより動きが誇張され、ややスローに感じます。まるで映画のワンシーンを見ているような感じです。また、音も意外と大きく響いて聞こえてきます。道路を走り過ぎる車の音は独特で、金属音のような例えようもない高音がウィンドウ内に反響します。人の声もガラス越しに響いて伝わり驚く程です。ですから、こちらを見ながら会話している皆さんの言葉も結構内側にいる人には、聞こえているものなんですよ。

今度通りを歩く時は、ショウウィンドウを少し気にして見てください。見慣れた街の風景に楽しみが増えるかもしれません。

千葉 淑子 (ちば よしこ)

Profile

1988年 北海道教育大学札幌校教育学部特設美術課 卒
 1988年 株式会社吉田プロジェクト 入社
 1991年 (社)日本ディスプレイ協会
 ディ스플레이デザイン賞入選 以後、92、93、94、95、
 03、04、05、06、07、08、09年入選

2000年 株式会社吉田プロジェクト 退社
 2002年 有限会社ビーンズデザイン設立
 同社代表取締役
 2006年 (社)日本ディスプレイ協会
 ディ스플레이デザイン賞地域特別賞受賞